
①水質調査（速報）

- 調査実施日
- ・平成26年9月26日

■水質調査の結果(速報) ~調査結果~



水質調査の結果を以下に示す。

- ①吉野川渡河部の水質は、河川側・海側に関わらず、ほぼ同様であることが確認された。
 - ②海域の有機物・栄養塩類の指標（COD、全窒素、全リン）は、基準値から見て比較的高い傾向にある（河川の有機物の指標はBOD）。
 - ③溶存酸素量の指標（DO）は、海及び河川の環境基準値から見て比較的高い傾向にある。
- ⇒河口域は、河川水が海域に流れ込むことで、有機物や栄養塩類が豊富な水域（河川と海の両方の特徴）となっていると考えられる。

■調査地点



■調査項目

河川側・海側で同様の水質であった。

| 調査項目 | 河川側 | 海側 |
|------------------|-------------|-------------|
| 水素イオン濃度 (pH) | 8.0~8.1 | 8.1~8.1 |
| 生物学的酸素要求量 (BOD) | 0.8~1.3 | 0.6~1.4 |
| 化学的酸素要求量 (COD) | 2.4~2.6 | 2.2~2.5 |
| 溶存酸素量 (DO) | 6.5~7.4 | 6.3~7.4 |
| 浮遊物質 (SS) | 5.0~11.0 | 5.0~9.0 |
| 大腸菌群数 | 170~790 | 22~220 |
| n-ヘキサン抽出物質 (油分等) | <0.5 | <0.5 |
| 全窒素 | 0.40~0.55 | 0.25~0.47 |
| 全リン | 0.032~0.051 | 0.034~0.043 |
| 全亜鉛 | 0.003~0.006 | 0.004~0.008 |
| ノニルフェノール | <0.00006 | <0.00006 |
| LAS | <0.0006 | <0.0006 |

注意) 渡河橋を境にして上流を河川側、下流を海側としている。